

2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [嶺南学園敦賀気比高等学校附属中学校] 担当教諭名 [今井 尚子] (1年 8名)

相手国・地域 [インドネシア]

海外学校名 [SMP Islam Al Azhar 9] 担当教諭名 [Novrini Dian]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	国際交流	35

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	気候変動や地球温暖化を止めるのは私自身だ
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	地球温暖化を止めるのは、私自身だととらえることで、問題を自分事にする。私が今やれることを始める。その思いを絵の中の地球を守る一本の手を描くことに込めた。例えば、植物を植える。公共交通機関を利用する。当たり前のことを当たり前にする。その中に答えがある。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
是非ともアートマイルをやってみたいと思い入学してきた中学1年生が積極的に活動した。もちろん、英語力が抜群であるわけでも、プレゼンテーションが上手いわけでもないが、本当に熱心に取り組み、彼らが、私たちはよくやったと思っているところが、すばらしいと思う。	人数が少なかったのが、何よりも困ったことだ。呼びかけのやり方を考える必要がある。フォーラムでのやりとりでは、生徒たちはわからない表現も調べながら、理解することができたが、Zoomでの発表では、相手の発表を理解するのが難しかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
自己紹介のビデオを作るときから、自分たちの力でやろうとする強い思いが感じられたが、相手校の高いプレゼンテーション力や絵のうまさを見て、更に頑張らなければいけないと考えようになったようだ。また相手の学校紹介を見て、文化や価値観の違いに触れ、素直に認めようとする気持ちが芽生えた。	コロナ禍で思ったように進まないことが多い中で、それでも工夫をして成し遂げようとしてくれる相手校の頑張りに触れ、感謝する気持ちを強く感じた。またユニークな発表をしてくれる相手校の生徒に対して親しみを感じるようになった。自分のこととして捉えることの重要性に気がついた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	4月 ～ 7月	授業や各自の部活動などを紹介したビデオを作成し、送った。また相手校から送っていただいた学校のビデオなどを見て学校の雰囲気を知った。	英語以外の言語で送られてきた動画を見て、言葉の意味はわからないものの、何をしているのかがわかり、十分楽しんだ。	総合7
共有 テーマ学習	8月	気候変動と地球温暖化について話し合いを行った。「あなたが住むこの場所を将来どんなふうにしたいか」というところを強く考えた。	相手校のダイアン先生から、ファーストネームで呼びかけられる体験を通して、本校生徒もダイアン先生の生徒のような気分になることができた。	総合5
融合 メッセージ作成	9月 10月	相手校とZoomを利用して、地球温暖化について話し合った。ちょうどコロナ感染が強いときで、相手校ではそれぞれが自宅から参加してくれた。その後絵の内容を考えた。	ALTの先生に通訳をしてもらいながら、交流を図ったが、思ったことを英語にするのは難しかったようだった。それでも少しでも楽しい雰囲気になるように話しかけていた。	総合5
創造 壁画制作	11月 12月	話し合いで決めた絵を描いた。どのように絵を分けるかを話し合いで決めようと思ったがなかなか上手くいかなかった。	絵の具とは違い、テント布のような生地の上にグラデーションを付けて描くことが難しく悪戦苦闘したが、美術部の人にも協力してもらいながら、一つの絵の形にした。	総合8
評価 振り返り 自己評価	1月 ～ 3月	活動の振り返りをパワーポイントにまとめて、発表することとした。また絵を描いてくれている相手校へのカードの制作などを行った。	コロナで休校になることがあり、途切れ途切れになりながらも少しずつ活動を進めていき、自分たちに自信を持ったようだった。	総合10

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	相手国の紹介動画を見るとき楽しそうな顔つきをして「かっこいい」と表現していたから。絵の中に、地球を書く際、なんとかして、日本とインドネシアの島々を分け隔てなく、表現しようとしていたから。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	判官鼻肩という言葉があるが、インドネシアの人が困っていると聞くと、全てを鵜呑みにしてしまうところがあり、もう少し、話で聞いたことを調べてみるような姿勢があると良いと思ったから。
主体的に考え行動する力	4	自己紹介のビデオ作りからはじまり、全てにおいて、自分たちに何ができるかを考えて行動できていたので、良い評価としたいが、やりたいことを言葉にしても、イメージが曖昧で形にできないこともあった。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	4	相手校は、別の交流事業などで他にも日本と関わっていらっしやるようで、発表などで何の情報も多く、対話や協働をするに余りある部分があった。もう少し相手にあわすことが出来ればよいと感じた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	地球温暖化について考えていく中で、思いは一つにまとまっていって思う。また、Zoomでの交流の中で、いろいろな絵を見て考えて行く中で、形についても一つにまとまっていって思う。